

地域自然情報ネットワーク 第 18 期事業報告書

2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日まで

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

—

2. 自然環境情報の整備・公開事業

● 市街地における緑の保全・回復に関する基礎調査

東京都内各自治体における生物多様性地域戦略や緑の基本計画等における生態系ネットワークの地図化の状況調査および GIS 図化（増澤・逸見）

● 千代田区街路樹調査とデータ作成

都内の街路樹調査の調査マニュアルの検討アドバイスと、千代田区内の都道における街路樹の毎木調査を行った。（東京都・Pacific Spatial Solutions より）（梶並・八田）

● 令和三年度生物多様性地域戦略にかかわる資料調査

全国の生物多様性地域戦略の策定状況の更新と、記載内容に関する整理とデータ作成を行った。（増澤・逸見・荒尾）

● 生物統計・バイオインフォマティクス解析

環境からヒトが暴露される毒物とヒトと健康との関わりに関する研究（アルキル化剤を処理した細胞のタンパク質発現変動解析）。解析と論文文化支援を行った。（国立医薬品食品衛生研究所より）（本田）

● みなかみユネスコエコパーク生物情報整備

みなかみユネスコエコパークに関する情報整備業務で、分類群ごとにエリア内における過去の自然環境調査等の調査位置や調査内容を整理し、図化した。（日本自然保護協会）（梶並・井本）

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

● 東京環境工科学園での人材育成

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野への GIS 基本講座を選択授業のひとつとして行う。導入編は授業カリキュラムの中での選択項目として組み込まれる。ArcGIS のバージョンは 10.2 を使用した。（梶並・井本・八田）

● 地域自然情報研究会の開催

2020 年 8 月 15 日 に zoom によるオンラインで開催した。

「急速な社会情勢の変化に対する公園管理のあり方～都立桜ヶ丘公園等での取り組み」話題提供 金子 是久 氏 （元桜ヶ丘公園サービスセンター長）

- 「野生生物と社会」学会への協力
前年度より継続して、「野生生物と社会」学会の行政研究部会の事務局を置いた。
 - NPO 法人野生生物調査協会
協力関係を継続した。
4. 自然環境保全にかかわる活動支援事業
- 西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務
東京都建設局の都立公園指定管理者である西武狭山丘陵パートナーズの構成員として、「都立公園狭山丘陵グループ」に参加した。
 - 阿蘇草原再生協議会
前期に引き続き、構成員として協議会本会・生物多様性小委員会に出席参画した。
 - 上サロベツ自然再生協議会
引き続き構成員として、再生技術部会および再生普及部会に参画した。
 - 令和三年度緑地管理における二酸化炭素の生態貯留と土壌貯留の促進事業
出光興産株式会社北海道製油所(苫小牧市)における工場緑地のバイオマス資源を活用した二酸化炭素吸収量増加の実証試験を共同で実施した。(出光興産株式会社・地域環境計画)(逸見・増澤・荒尾)
5. その他の事業
- メーリングリスト・ホームページの維持管理
 - ・ホームページ等による広報を行う。
 - ・広報を会員への情報提供の重要な手段と考え、その改善につとめる。あわせてメーリングリストの管理を行う。メーリングリストは入退会に応じて随時管理する。
 - ・ホームページにあわせて Facebook による広報を行った。